

第4章

地域の概要

第1節 自然的特性

総社市は、岡山県中南部に位置し、総面積は212.01平方kmです。東に岡山市、南に倉敷市、西に井原市及び矢掛町、北に高梁市及び吉備中央町が隣接しています。

地理的構造については、北部や西部は山地及び丘陵に囲まれ、南部には吉備平野が東西に広がっています。また、中央部を岡山県三大河川の一つである、一級河川の高梁川が貫流しているほか、東部には足守川が南流しています。

気象については、年平均気温は概ね15.5℃から16.5℃、降水量は概ね1,000mmから1,200mmで、温暖少雨で晴天に恵まれた瀬戸内気候区に属します。

第2節 社会的特性

総社市では、独自の政策として、「子育て王国そうじゃ」、予約型乗合タクシー「雪舟くん」、「障がい者千五百人雇用」、「英語特区」、「新教育特区」などを展開しています。また、高速道路網や鉄道の要衝に近く、その好立地を活かした企業誘致を成功させています。そうしたことから、近年では人口及び出生数も増加し、県下有数の発展を続けています。

1. 人口・世帯数

令和2年の国勢調査によると、総社市の人口は69,030人で、県内4番目の規模となっており、人口及び世帯数は、増加傾向にあります。

2. 産業別就業人口

第1次産業就業人口は、平成20年から令和2年までの13年間において減少傾向が続いています。第2次産業就業人口は、平成27年までは減少傾向となっていました。令和2年には増加に転じています。第3次産業就業人口は、平成12年以降は概ね増加傾向にあります。

3. 土地利用

令和4年における総社市の地目別面積では、山林が30.3%を占め、次いで田が10.7%となっています。平成30年から令和4年における推移では、田及び畑は減少傾向、宅地、山林、原野及び雑種地は増加傾向にあります。

4. 運輸交通

総社市には、主要な道路として国道180号、国道180号総社・一宮バイパス、国道429号及び国道486号があります。また、北東部に高速道路の岡山自動車道があり、岡山市との市境に岡山総社インターチェンジが設けられています。現在、道路整備は2ルート計画しており、一層の道路交通網の利便性向上を進めています。鉄道においても、JR総社駅は、JR吉備線（桃太郎線）、JR伯備線、井原鉄道が乗り入れるターミナル駅となっています。

5. 公共施設

総社市内の主な公共施設は、行政機関、福祉施設、文化施設、スポーツ・レクリエーション施設、観光施設、学校などの各施設が市内に広く分布しています。

6. 文化財

総社市は古くは古代吉備国が繁栄した地であり、作山古墳などの多くの史跡や文化財があり、国指定13件、県指定19件、市指定43件、登録有形文化財が30件となっています。

7. 観光地・レクリエーション

総社市は豊かな歴史的・文化的遺産に恵まれ、高梁川や吉備高原、田園などの自然にも恵まれており、広範囲に観光・レクリエーション地が点在しています。